Monthly PickUp

もしもの備えが災害時の命綱に

私たちの周りには多くの自然災害のリスクがあります。いつ起こるか分からない災害に対し普段から防災意識を高め、備えておくことが大切です。 問役場総務課☎47-5018

1 地域の危険な場所を確認

災害時の対策は普段からの備えをしっかりしておくことが必要です。まず、大切なのが自分の住んでいる地域の危険な場所を知ることです。町が配布している防災マップなどを確認し、災害時に自宅付近でどのような被害が想定されるかを把握しておきましょう。

町防災マップ

洪水時の被害想定範囲図や避難方法などをまとめた防災マップ。役場総務課で配布の他、町のホームページで確認できます。

町ホームページ

総務課 交通防災係長
豊嶋 耕平さん

2 避難先と経路を家族と共有

災害時にどの避難所を避難先にするか、どのように向かうかの経路を家族と共有しておくことも必要です。しっかり共有するためにも、家族と一緒に避難所まで歩いて経路を確認することや道中の危険を確認しておくことも大切です。

3 警戒レベルごとの行動

警戒レベルとは災害時の危険度と、そのときにとるべき行動を示した指標です。

警戒レベル	避難情報など
5 命を守る行動	**緊急安全確保**(町が発令) すでに安全な避難ができない状況なので、その場でできる限りの命を守る行動をとる必要があります。
4 全員避難	**避難指示**(町が発令) 災害警戒情報などが発表され、被害が発生する危険度が非常に高いため危険な場所から全員避難。
3 高齢者など避難	**高齢者等避難**(町が発令) 避難に時間がかかる高齢者の他、障がいのある人やその支援者は危険な場所から避難しましょう。
2 避難行動を確認	洪水注意報、大雨注意報など(気象庁が発表) 注意報が発表されている状況。避難所や経路を再確認しましょう。
1 災害への心構え	早期注意情報(気象庁が発表) 5日先までに警報級の現象が予想される状況です。最新の気象情報などに注意しましょう。

ここまでに必ず避難！

町が発信する情報はこちらからチェック

町ホームページ(災害情報)
お知らせメール
町公式X
町公式LINE

大災害は突然に……

災害はいつ起こるか誰にもわかりません。「災害は発生しないから大丈夫」「邑楽町は安全だから大丈夫」と油断していると逃げ遅れて被災するなど、取り返しのつかない事態が起こってしまうかもしれません。

自分や家族の命を守るためにも、日頃から災害に備えておくことが大切。「備え」は難しいことではありません。

備えて被害を最小限に

災害大国と呼ばれる日本。地震や台風、豪雨と多くの自然災害が全国で多発しています。私たちの記憶にも新しい2024年の元日に発生した能登半島地震では、多くの建物が倒壊し、尊い命が奪われました。

さらに近年では、「過去最大の雨量を観測」というニュースが全国から毎年のように聞こえてきます。自然現象は人間の力では止められません。しかし、災害による被害は「日ごろの備え」によって最小限に食い止めることはできます。この機会に、備えを整えておきましょう。

4 非常時持出品があなたを救う

非常時持出品とは、避難所などで何日か過ごすために必要な物のことです。災害時には食べ物や飲み物をはじめ、必要なものがすぐに手に入るとは限りません。玄関の近くなど避難するときに持ち出しやすい場所にあらかじめ置いておきましょう。

チェックリスト

- □ 飲料水・保存食
- □ 現金(小銭多め)
- □ 印鑑・預金通帳
- □ 保険証・免許証など
- □ ラジオ・電池(多め)
- □ モバイルバッテリー
- □ 救急セット(常備薬など)
- □ 懐中電灯・電池(多め)
- □ ヘッドライト・ランタン
- □ 着替え・タオル
- □ 生理用品
- □ ウェットティッシュ
- □ ヘルメット
- □ ラップ
- □ レインコート
- □ ライター
- □ 笛・ブザー
- □ 携帯用トイレ
- □ 防災マップ

▶赤ちゃんがいる場合

- □ 粉ミルク・離乳食
- □ 紙おむつ

▶非常用袋にまとめると持ち出しの際に便利です

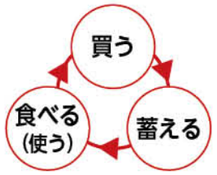
※上記はあくまで一例です。状況に応じて用意してください。

5 日常備蓄を整え災害を乗り切る

災害から命を守った後、ライフラインが回復するまでの間を乗り切るための日常備蓄も必要です。最低3日、できれば1週間程度を生活できるよう準備をしておきましょう。普段から非常食などを食べておくと、災害時に食事がストレスにつながりにくくなります。

ローリングストック方式

非常食やレトルト食品、インスタント食品、飲料水、日用品を日ごろから備蓄しておき、賞味期限を迎える前に定期的に消費して、消費した分を補充していく防災備蓄方法です。



飲料水
1人あたりの1日に必要な飲料水は3ℓ
1日3ℓ×7日=21ℓ

携帯用トイレ
1人あたりの1日の平均排せつ回数は5回
1日5個×7日=35個

総合防災訓練を実施

町では、災害時の行動を確認し、もしものときに迅速な対応ができるように防災訓練を実施します。訓練では実際の災害時と同様に役場に対策本部を設置し、関係職員参集のもと避難所の設営訓練、屋外広報やお知らせメールの情報伝達訓練などを行います。

防災行政無線試験放送

期日▶8月20日㈬午前11時～

邑楽町総合防災訓練

期日▶9月7日㈰
時間▶午前9時30分(訓練放送実施)
内容▶職員参集訓練、情報伝達訓練
避難訓練、避難所設営訓練など

避難所設営場所
【中野地区】保健センター
【長柄地区】長柄公民館
【高島地区】高島公民館(体育センター)